

開発途上国の行政官が、福岡市の環境技術を学びにきます

国際協力機構九州センター(JICA九州)は、アジア開発銀行(ADB)及びアジア開発銀行研究所(ADB)と協力し、開発途上国の行政官向けに、福岡市内の廃棄物最終処分場等にて福岡市が保有する廃棄物の処理技術に関する研修を実施します。JICA九州が、ADB及びADBと連携・協力した研修は今回が初めてとなります。

本研修の現場を取材いただける場合は、取材対象日の前営業日12:00までに以下の問い合わせ先までご連絡ください。

■参加行政官

25名(出身国(予定):バングラデシュ、カンボジア、中国、インド、ラオス、モルディブ、マーシャル諸島、ネパール)。

■取材対象日程

6月19日(水)

9:30~11:00

場所:福岡市環境局西部污水处理場(福岡市西区今津 5371)

講義:福岡方式の導入(福岡市環境局)、福岡方式による温室効果ガスの排出削減(福岡大学)、福岡方式の開発途上国への適用(UN-Habitat)

11:00~12:15

場所:福岡市西部(中田)埋立場(福岡市西区今津 4439)

現場視察:福岡方式の廃棄物処分場への適用事例(福岡市環境局)

13:30~14:45

場所:福岡バイオフィードリサイクル株式会社(福岡市西区太郎丸 693)

現場視察:食品廃棄物のリサイクル(福岡バイオフィードリサイクル株式会社)

- ※ 研修日程詳細、研修員リストは、取材時までにご案内いたします。
- ※ 研修内容やスペースにより、時間や取材可能人数等に制限が出る場合があります。
- ※ 本研修には英国の支援によるアーバン・レジリエンス信託基金も活用されています。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA九州 研修業務課(担当 三浦)

TEL 093-671-8360 FAX 093-671-0979

E-Mail Miura.Sho@jica.go.jp (@は半角に置き換えて下さい)